

第22回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 令和元年11月26日(火) 1000～1120
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局企画総務部長
【京都府警察本部】警備部理事官(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長
宇川連合区長会会長
京丹後市防犯委員会会長
丹後町袖志区長
島津連合区代表
【米軍経ヶ岬通信所】第14ミサイル防衛中隊長
【航空自衛隊】経ヶ岬分屯基地第35警戒隊長
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

I 経ヶ岬通信所における状況等

- (1) 第Ⅱ期工事の状況
- (2) 交通事故の状況等

II 住民の安全・安心

- (1) 交通安全に対する取組
- (2) 交通誘導及び巡回警備

III 日米交流及び地域振興策の状況

- (1) 日米交流等
- (2) まちづくりへの支援

IV その他

- (1) 今後の安全・安心対策連絡会について

○米軍経ヶ岬通信所挨拶

- ・ 私たちの将来を切り拓くために友好関係の構築及び強化をしている。特に経ヶ岬周辺の気候も寒くなる中、私の職員はこの地に住み、地域との取組を楽しんでいる。
- ・ 私自身を含め、米軍は、日本の道路交通法のいかなる違反をも非常に問題視している。9月に運転講習会を終え、次回は12月に行われる冬季運転講習会に向け、現在、近畿中部防衛局及び京丹後警察署と調整している。私の目標は、経ヶ岬通信所の全職員に対して京丹後での運転講習の受講の場を提供し、あらゆる交通事故を減らすことである。
- ・ 今後も、生活関連施設の整備工事について、可能な限り安全で早急な完了を目指し取組んでいく。

- ・ 最近、発電機の夜間・休日における使用はない。発電機の使用について、地元の方々が懸念されていることは十分承知している。私は基地の発電機技士に対し、改めて緊急事態以外の夜間及び週末の発電機の使用を避けるよう指導している。私たちの目標は、率直なコミュニケーションであり、今後も、必要な情報を可能な限り共有することで、地元の皆様及び近畿中部防衛局との友好関係を強化していきたい。
- ・ 最後に、地域交流において、私たちは袖志の英会話交流やハロウィンイベントなど、多くのボランティアイベントを開催した。また、今年は島津区の秋祭りに招待いただき、神輿担ぎは肩に堪えたが、兵士は大変楽しんでた。来月はクリスマスイベントをひかえており、峰山の乳児院や袖志、黒部のクリスマスイベントでは、子供たちに簡単なプレゼントを用意している。私はこれらのイベントを通し、私たちが防衛任務のためだけにこの地にいるのではなく、地域に積極的に参加したいという私たちの思いを伝えたいからである。

○出席者の意見等の概要

(1) 第Ⅱ期工事の状況等について

【質問要旨】

- ・ 第Ⅱ期工事について、工事計画や工事の完成予定時期について変更は生じていないか。

(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 前回説明申し上げた内容から大きな変更はなく、完成予定時期についても特段の新しい情報は無い。今後は、工事の進捗状況をよりわかりやすく説明できるよう工夫していきたい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 去る10月6日の日曜日に、第Ⅱ期工事の関連工事が事前連絡なしに行われたことについて、市から既に遺憾の意を伝えているが、地元との情報共有をしっかりと図っていくことが地域の方々の不安解消につながると思うので、今後は、事前の情報共有の徹底をよろしくお願ひしたい。また、繰り返しになるが、第Ⅱ期工事が計画に沿って適切に行われ、早期に完了するよう努めていただきたい。

(京丹後市)

- ・ Ⅱ期工事について、緊急申入れもしたが、地元への事前連絡のない日曜工事の実施については、誠に遺憾であり、二度と起こさないよう安全で適切に実施されたい。また、Ⅱ期工事には、米軍人の宿舎建設が含まれており、通勤途上の事故防止にも繋がるので、早期の完成に努めていただきたい。

(京都府)

- ・ 当初そのように説明されていたとはいえ、米軍の工事だけ土曜日、日曜日の工事をしてはいけないと求め続けることに違和感がある。土曜日でも日曜日でも工事をして、とにかく早く工事を終わらせた方がいいのではないか。当初の約束とはいえ、理不尽なことにならないよう考えてもらいたい。

(地域住民代表)

【説明要旨】

- ・ 10月6日の日曜日の作業について、米側を通じて現場の業者に問い合わせたところ、隊舎や厚生施設等、米軍施設の建設やインフラ整備に関わる直接の工事は行われていないが、2期工事の業者が現場事務所を移動させることに伴う電力線の接続替えに係る作業を、地元の電気工事会社が実施していたことを確認した。

業者側としては、電力線の接続替えに係る作業中、現場事務所で電力が使用できなくなるため、米軍施設の建設工事等を行っていない期間に作業を実施する必要があったとのことであり、また、さらに、大型の台風（19号）が日本に接近するとの情報があったので、可能な限り早く作業を終えて、万が一にも暴風等による事故が生じないよう万全を期す必要があったと聞いている。

これを受けて、当局としては、10月10日に企画部長が現地に赴き、米側の工事の現場責任者に対して、対面で直接、今回のような米軍施設に関わる直接の工事ではない作業であっても、日曜日に実施することは避けるとともに、どうしても作業が必要な事情があるのであれば、事前の情報提供を徹底するよう申し入れた。

また、10月18日には、改めて局長から米陸軍工兵隊日本地区の司令官に対して、文書により、今後このようなことが起こらないよう現場責任者及び施工業者への指導・監督を徹底するよう申し入れた。

当局としては、工事をなるべく早期に完成させることが地域住民の方々の安全・安心の確保にとっても望ましいと考えているが、米軍に対しては、今後とも安全対策に万全を期し、地域の方々の理解を得ながら、適切に工事を進めていくよう求めていく考えである。（近畿中部防衛局）

（2）交通安全対策について

【意見要旨】

- ・ 従来からの交通安全対策に加えて、事故の未然防止に向けた更なる取組を検討されており、また、冬季対策の交通安全講習会が12月に開かれるとのことだったので、引き続き効果的な未然防止策が講じられるよう努めていただきたい。

第Ⅱ期工事に関する米軍関係車両になると思うが、大変マナーの悪いドライバーがいるとの声を聞いている。第Ⅱ期工事に関する米軍関係者も含めて、関係者全員が交通安全講習を受講するよう徹底していただきたい。（地域住民代表）

- ・ 先ほどご報告いただいたとおり、前回の連絡会以降、交通事故の発生は0件ということで、交通安全対策の成果が出ているものと評価している。

これから積雪時期に入ることを踏まえ、市としても、冬季の交通安全に関する留意事項を米側にお届けしているので、参考にさせていただき、引き続き無事故を目指して取り組んでいただきたい。

また、引き続き、交通安全講習会の確実な受講とともに、交通安全マップを定期的に配付し確認いただくなど、繰り返しの注意喚起が重要と考えているので、よろしくお願ひしたい。

（京丹後市）

- ・ 交通事故が0件という報告もあったが、これからは冬の季節でもあるので、より効果的な交通安全対策を講じられたい。また、地域住民代表から工事関係者の交通マナーについて指摘もあったが、工事関係者にも交通安全講習会を受講させる等、交通安全を徹底いただきたい。(京都府)

【説明要旨】

- ・ 前回9月の安全・安心連絡会で報告して以降、9月、10月の間、交通事故は発生していないと承知している。当局としては、米軍関係者へ配布している交通安全マップの更新に向けた作業を行うとともに、関係機関などから京丹後市内における交通安全対策の取組状況等を伺いながら、更なる交通事故の未然防止対策に取り組んでいきたい。
また、米軍においては、交通事故の未然防止対策として、引き続き、実車講習などの交通安全講習会への参加、通信所関係者に対する安全運転の注意喚起など取り組んでいただくとともに、これから道路の積雪や凍結に注意を要する冬を迎えるので、米軍司令官におかれては、必ず冬用タイヤを装着させ、十分に減速して慎重に運転するよう指導するなど、冬季における交通事故の未然防止対策の徹底を図られるようお願いする。(近畿中部防衛局)
- ・ 交通安全講習会の充実については、前回9月の講習会において、米軍属が居住する島津住宅近傍の通勤経路やその生活圏内の道路を実車教習のコースに設定し、実際に走行しながら運転に注意を要する箇所等の確認を行ったところである。当局としては、引き続き、交通事故の未然防止により資する形での交通安全講習会の開催を企画していきたいと考えている。(近畿中部防衛局)
- ・ ご指摘のあった第Ⅱ期工事に関する米軍関係車両がいつから通信所に入っているか、正確な時期はわからないものの、当局としては、経ヶ岬通信所に勤務する米軍人・軍属に限らず、第Ⅱ期工事に係る米軍の現場責任者も含めて、広く通信所の米軍関係者に対し、交通安全の注意喚起に努めている。いずれにしても、マナーの悪いドライバーがいるという点も含め、頂戴したご指摘、ご意見については、しっかりと米側に伝え、車の運転に当たっては日本の法令を遵守するのはもちろんのこと、交通の安全に細心の注意を払うよう改めて米側に注意喚起するとともに、次回12月に開催を予定している交通安全講習会にできる限り参加するよう働きかけていきたい。(近畿中部防衛局)

(3) 施設区域内における銃器を携行した訓練について

【意見要旨】

- ・ 前回の連絡会でも申し上げたが、7月11日に実施された米軍基地内での訓練で、外側から見える範囲で銃口が国道側に向いていたというような指摘があった。地域住民が不安にならないような配慮をどうか今後の訓練においても実施いただきたい。(地域住民代表)
- ・ 去る11月18日から21日にかけても陸上自衛隊と米軍の共同訓練が実施された。前回の連絡会でも申し上げたところだが、訓練の実施にあたっては、地域の方々から不安の声が上がる前に情報共有を図っていただき、地域住民に不安を与えることのないよう十分な配慮をお願いしたい。(京丹後市)

- ・ 地域住民代表から要望もあったが、訓練の実施に当たっては、安全管理対策の徹底はもとより、地域住民生活に影響を及ぼさないことを前提として、地域住民に不安を与えることがないよう、十分に配慮いただきたい。(京都府)

【説明要旨】

- ・ ご指摘の7月11日の訓練については、前回の連絡会でもご説明したとおりであるが、当局としては、今後も引き続き、通信所の運用に際して、地域住民の方々が不安に思われるようなことは避けるよう申し入れていきたい。(近畿中部防衛局)

(4) 今後の安全・安心対策連絡会について

【説明要旨】

- ・ 前回の連絡会で、構成員の方から、本連絡会が「ある種形骸化しているように感じる」等のご意見があったので、今後の安全・安心連絡会の在り方、進め方について、この場で改めて当局としての考えをご説明した上で、皆様のご意見を賜りたい。

当局としては、近畿地区における初めての米軍施設の設置だったということもあり、地元の方々の安全・安心に対する懸念があったことを踏まえ、地元の方々のご意見をできるだけ広く丁寧に聞く機会を設けるという趣旨で、本連絡会を開催しているものと承知している。そのような会議の趣旨を踏まえれば、まだ第Ⅱ期工事が進捗している途上であり、米軍人が通信所外に居住し、交通事故に対する地元の方々の不安や懸念が払拭されていない現状においては、概ね四半期に一度という現在の開催頻度が妥当であると考えている。

また、地元の方々の安全・安心を確保するという目的からすれば、工事の進捗や事故の状況を局から地元の区長の方々等、より限られた構成員の方だけにお知らせして意見を聞くというのではなく、米軍の参加する日々の交流活動や各種交通安全対策の取組状況についても、広く様々なご知見を有する方にお集まりいただき、それぞれの観点からご意見を総合的に頂戴することが重要と考えている。

他方で、前回のご指摘にもあったとおり、説明事項や資料構成が毎回ほぼ同じ形となっており、説明内容の重複も多いという点については、当局としても大いに反省するところなので、今後の連絡会においては、連絡会における議論の活性化を図ることができるよう、説明事項・資料構成の改善に努めたいと考えている。

また、連絡会の枠組みにおいて、米軍経ヶ岬通信所の現地見学を組み入れる等、何らかの新しい企画を取り入れていくことはできないかと考えている。通信所の見学については、米軍の運用との兼ね合い等もあり、適時に実施することが可能かは、引き続き米軍と調整が必要であるが、皆様におかれては、こうした新しいアイデアについてもご意見を頂戴したい。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 前回、連絡会の今後について提案をさせていただいたことに対してご回答があったが、是非そういった形で改善をしていただきたいと思います。この連絡会は、発電機の騒音問題であるとか、日々の

地域住民の生活に支障が出るような課題について議論する場であると理解している。個人的な、個々の安全保障観に基づいた意見交換をする場ではない。米軍に日本の道路交通法令に基づいて安全運転をするよう求めるのは当然のことだが、必要以上に交通安全の問題を取り上げ、集団通勤を求める、多くの市民が通る特定の一般道を通らないように米側に求める、というのは、違った観点から議論がされているように感じる。米軍の存在は、日米の安保条約に基づき、国民が求めたことである。この連絡会は、純粋に地域住民の日々の生活の安全・安心に関わる課題について議論する場とすべきであり、そうした課題については、米軍、防衛局とも誠実に対応いただきたいと考えている。

(地域住民代表)

- ・ 引き続き年4回程度の開催頻度でいいと思う。加えて、各地域において、例えば米軍の楽団に来てもらって音楽交流をする場等の機会を捉え、そこで防衛局のことについても紹介していただくなどの取組も一案ではないかと思う。

(地域住民代表)

- ・ 今後の連絡会のあり方について、本連絡会は地域の安心・安全や交流促進等について、関係者で議論を深める場であり、これまでから京都府は、安心・安全に支障が生じた場合には、司令官も出席している場で、厳しく対応を求めてきた。また、今後の連絡会については、開催頻度や構成員はそのままで、行政サイドからの情報提供を含めて、参加者による活発な意見交換を喚起する等により、連絡会の充実を図るべきと考える。

(京都府)

(5) 日米交流その他のご意見等

【意見要旨】

- ・ 島津の宿舎の前に「米軍は即刻出ていけ」と英語による看板が立てられている。私もその看板を実際に見に行ったが、何とも酷い話だと思う。今や世界中の人々が、この国に来て働いているが、特定の国の人々を名指しで誹謗すれば、それはヘイトスピーチとして非難されるだろうし、マスコミも市民も大騒ぎすると思うが、米軍関係者に対してはこのような行為も許されるのか。

歴代の米軍関係者は、地元に対し、良き隣人でありたいと、積極的に良好な関係を築く努力をしていて、そのことに対して敬意を覚える。地元に対して積極的に融け込もうとする米軍関係者の努力や、良好な関係を願う地元の思いも、この看板の設置により冷や水を浴びせられているような気がする。そのことは、例年春と秋に行われている、大規模な米軍基地反対デモについても同じ思いがする。米軍基地ができて、酷い思いをしているのであれば、真っ先に地元民が声を上げる。しかし、米軍基地と一番関係の深い、袖志区民や尾和区民がデモに参加しているという話を聞いたこともなければ、デモに参加している人々に対する感謝の言葉も聞いたことがない。

政治的信条か何かは知らないが、人として他人を侮蔑する行為を恥ずかしく、情けなく思う。恥ずべき看板の速やかな撤去を希望する。

(地域住民代表)

- ・ ご指摘の看板については、去年の島津連合区長会において、区民に大きな問題が出るようなことがあれば対応するとの議論があったと記憶しているが、現在のところ、区民からはこれについて苦情なり疑問の意見は出ていない。いずれにしても、表現の自由との関係もあり、今すぐに結論を出

せる問題ではないと思うが、焦らずに皆で議論をしていこうという点については連合区としても賛同したいと思う。 (地域住民代表)

- 最初に司令官から言及のあった島津区の秋祭りへの米軍人・軍属の参加について、京丹後市の広報誌等でも紹介してもらっている。同じ地域住民同士、交流を図る良い機会になった。来年以降も是非参加いただき、島津恒例の風景となれば地域の融和にもなると思うのでよろしく願いしたい。 (地域住民代表)

- 各種の日米交流イベントについて高い評価がされている点は承知しており、純粋に交流を図りたいという前向きで積極的な交流はもちろんいいと思うが、米側に参加を強いるような形の交流は控えた方がいい。米軍は、国と国の間の条約に基づいて設置されているのだから、その根本的な部分を受け止めていないような、何か貸しがあるかのような交流は止めた方がいい。 (地域住民代表)

以上